

銅 賞

浄化センターの出前じゅ業

神農 真帆

粕屋町立 粕屋中央小学校

わたしは、7月に「多々良川浄化センターの方々」に来ていただいて、出前じゅ業を受けました。浄化センターの方々は、三つのコーナーに分けていろいろな実験をしてくれました。一つ目の実験は、ある特しゆなえき体を使って水がどのくらいよごれているのかなどをけんさする実験でした。よう器にあらかじめこなが入れてあり、そのよう器の中に水を入れてよくふると、水の色がむらさき色に変わります。そのむらさき色のこさでどのくらい水がよごれているのがわかるのだそうです。わたしがけんさした水は、すこしうすいむらさき色でした。この場合はあまり水がよごれていないことがわかります。

二つ目の実験は、トイレットペーパーとティッシュペーパーはトイレに流れるのかをためす実験でした。まず、一人一こペットボトルに入った水とトイレットペーパーかティッシュペーパーのどちらかを選びます。次に、水やトイレットペーパーが入ったペットボトルをよくふります。わたしは、ティッシュペーパーを選びました。トイレに流れるのか、流れないのか楽しみです。最後に、いよいよトイレに流していきます。本当にトイレに流しては、トイレがつまってしまうので、多々良川浄化センターの方々手作りのあみをはったトイレで実験を行います。やっと、わたしの流す順番が来ました。いざ流してみると、ティッシュペーパーは流れませんでした。しかし、友達を選んだトイレットペーパーは、きれいにあみを通りぬけて流れていました。

浄化センターの方々は、

「このように、トイレットペーパーは流れるけど、ティッシュペーパーは流れないので、トイレには流さないようにしましょう。」と説明してくださいました。

三つ目は、実験ではなく、ゴミを食べてくれている生物を見ることのできるコーナーです。び生物は、とても小さくて、目には見えないのでけんび鏡という道具を使って見ました。すると、たくさんび生物を見ることができました。

わたしは、この多々良川浄化センターの方々の出前じゅ業で、トイレにティッシュペーパーは流れないことなどのたくさんを学びました。その理由は、浄化センターの方々がやさしく、丁寧に教えてくれたからということもあると思います。浄化センターの方々の出前じゅ業で学んだことをこれからも活かしていきたいです。